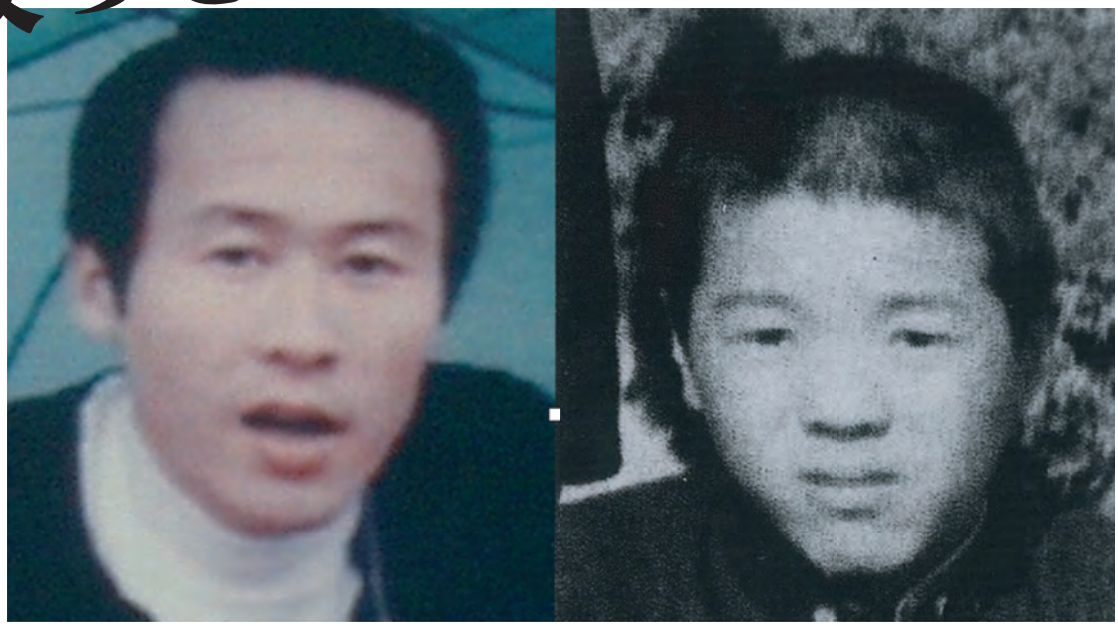
金田龍光（かねだ　たつみつ）さんを放っておいて良いのか



政府認定拉致被害者田中実さん (写真左) を追って昭和 55 年（1980）頃失踪した金田龍光さん（写真右）。田中実さんは尼崎の JR 脱線事故の平成 17 年（2005）4 月 25 日、警察が拉致であると断定し、その 2 日後に日本政府が拉致被害者として認定しました。

田中さん、金田さんの二人については 11 年前、平成 26 年（2014）5 月の「日朝ストックホルム合意」で北朝鮮側が国内にいることを認めています。しかし日本政府は金田龍光さんについては拉致と認めていません。現在の日本の法律では拉致被害者として認定されるのは日本国籍保有者であり、韓国籍の金田さんはこの対象にならないのですが、警察は昭和 49 年（1974）に福井県小浜市の岡津海岸から拉致された高敬美・剛姉弟については「警察断定」という形で拉致であると明確にしています。少なくとも同じ扱いにはできるはずです。

日本政府は国会答弁でも国籍に関係なく日本から拉致された人については救出する責任があることを明言しています。それなのに北朝鮮が自国内にいると明らかにした金田龍光さんについて、なぜ警察断定すらなされないのでしょう。

ひょっとしたら金田龍光さんの問題は拉致問題全体の闇を凝縮しているのかもしれません。金田さんの故郷神戸でそれを考える集いを開催します。ぜひご参加ください。

★8 月 30 日（土）18：30〜20：30

会場：神戸市中央区文化センター（三宮駅南口徒歩 6 分・神戸市役所西隣　神戸市中央区東町 115）

登壇者：荒木和博・特定失踪者問題調査会代表

岡田和典・特定失踪者問題調査会常任顧問

山田文明・北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会理事 他調整中

YouTube ライブ：荒木和博チャンネル（右 QR コード）で生中継

主催：特定失踪者問題調査会　共催：北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会

問合せ：調査会（03－5684－5058）